START 大学・エコシステム推進型 大学推進型

（2024年3月時点）

採択年度：2023年度

研究代表者：筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構　准教授　阿部高志

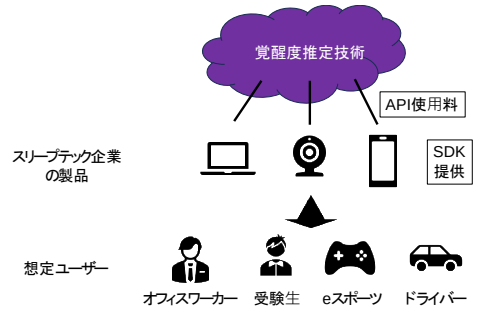
課題名

4cus　覚醒度可視化サービス

プロジェクトの概要

研究代表者は、目やまぶたの動きを測定し、機械学習を組み合わせることで、睡眠と関わるパフォーマンス低下の評価のゴールドスタンダードである精神運動ヴィジランステストの成績を推定する技術の開発に成功した。この技術は、製品の効果を睡眠研究で定評のある方法で評価したいが、既存手法は作業を中断し、評価に時間がかかるというスリープテック事業の課題を解決する可能性がある。起業後は、API事業によって会社成長の基盤を作り、ドライバーや睡眠医療へ事業を展開する。

ビジネスモデル（終了時）



スリープテック企業向けにSDKを提供し、API使用料で収益を得る

活動計画（申請時）

周囲の状況に対して迅速な対応が求められる職種に向けた事業化を目指す。非接触型のカメラを用いた反応速度推定装置によって、作業実施中の反応速度を可視化する技術を提供する。

活動結果と成果（終了後）

スリープテックを手がける企業が、製品の効果を睡眠研究で定評のある方法で評価したいと考えているが、既存の手法では作業が中断され、評価にも時間がかかるという課題がある。これに対応するため、スリープテック企業向けに覚醒度推定法をAPIで提供する事業を展開する。

今後の事業化に向けた活動予定

2024年度に大学発新産業創出基金事業の助成金に応募予定である。スリープテック向けAPI事業を軸として、技術開発・事業開発を進めるとともに、将来の事業拡大に向けて、ドライバーや睡眠医療分野を顧客候補とした事業のための技術開発を進める。2027年までに起業し、スリープテック向けAPI事業を開始する。